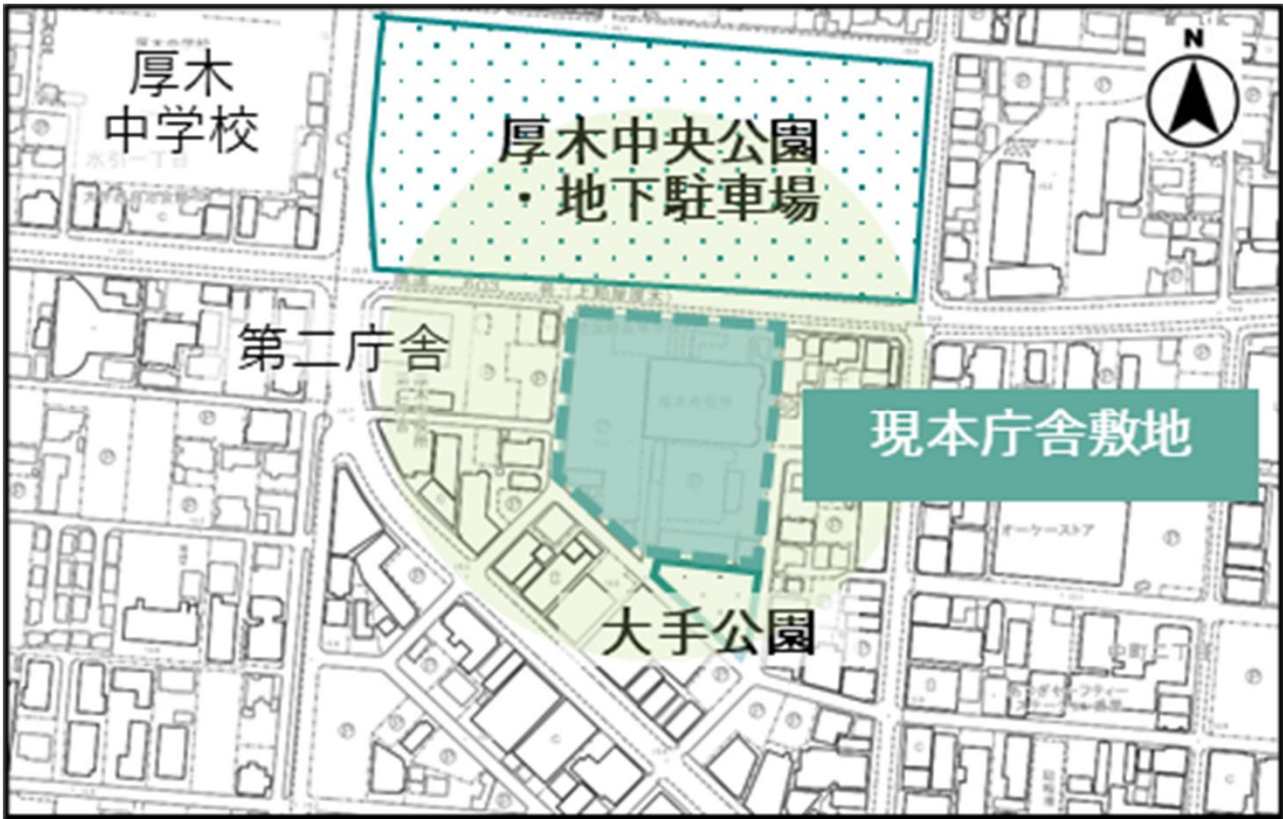


新たな交流拠点としての多目的アリーナ整備について

(1) 本庁舎敷地跡地に求められる役割について

- 厚木市役所本庁舎は、複合施設あつめきへの移転に伴う本庁舎敷地跡地の活用について、今後、**本厚木駅周辺の中心市街地**は、**まちづくりの新たな局面を迎えることや、変化する時代に対応した新たな役割**を踏まえ、検討を重ねてまいりました。

事業対象地



本庁舎敷地跡地に求められる役割

まちづくりの課題	求められる役割・機能
中心市街地における回遊性の向上	歩行者の目的地となる
都市機能が不足している	適切な都市機能を保有する
休憩できる場所が不足している	憩いの場を形成する
公共建築物の最適化	整備・運営コストを抑制する

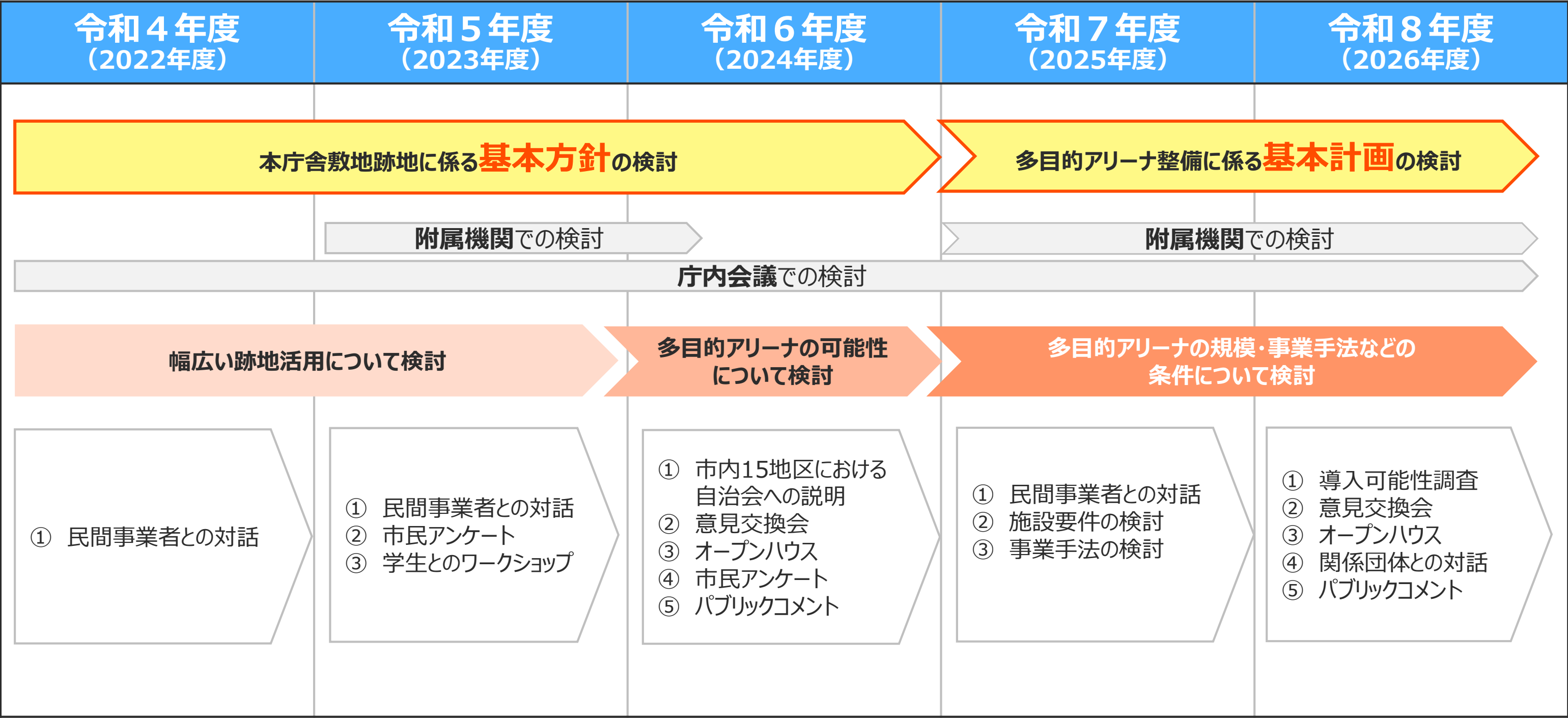
本庁舎敷地跡地に求められる役割のイメージ

- 歩行者の目的地として、中心市街地の回遊性向上に寄与
- 公園等の周辺施設との一体的な活用で、憩いの場を形成
- 使用頻度の増加、民間事業者の参画等により、市の財政負担を抑制

出所：厚木市新たな交流拠点としての多目的アリーナ整備基本計画策定方針より抜粋

(2) これまでの検討経過について

- 令和4～5年度は、幅広い跡地活用について検討を行い、令和6年度に**多目的アリーナ**の方向性を定めた**基本方針**を策定しました。
- 令和7年度から8年度にかけて、**多目的アリーナ**の条件等を定める**基本計画**の策定を検討しております。



(3) 第11次厚木市総合計画での本事業の位置づけ

- 令和8年3月に**第11次厚木市総合計画**を策定し、本事業においては、戦略1「厚木の魅力を伸ばし、住みたい住み続けたいまちをつくる」の中の、**重点テーマ1「新たな人の流れを生み出すまちづくり」**に位置付けております。



分野横断的に取り組む 重点プロジェクト

将来都市像や将来の目標人口を実現するために、分野横断的に取り組んでいく「重点プロジェクト」を位置付けています。重点プロジェクトは、厚木市の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として、これからの新しいまちづくりに対応するために「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードとした三つの戦略と、各戦略に応じた重点テーマや取組によって構成しています。

また、各戦略には達成度合いを測る数値目標と重点テーマの進捗を測る重要業績評価指標(KPI)を設定。総合計画と一体的に効果検証を行っていきます。



戦略1
厚木の**魅力**を伸ばし、住みたい
住み続けたいまちをつくる

数値目標 総人口

重点テーマ	1 新たな人の流れを生み出すまちづくり	2 新たな発見がある魅力的なまちづくり
	3 穏やかに暮らせる 安心・安全な環境づくり	4 つながり支え合う地域づくり

1 | 新たな人の流れを生み出すまちづくり

戦略2
こどもたちが**幸せ**に
暮らし続けられるまちをつくる

数値目標 0～14歳人口

重点テーマ	1 出産・子育ての希望がかなう環境づくり	2 こどもたちが自ら学び 成長できる環境づくり
-------	------------------------	------------------------------

戦略3
地域経済の活性化により、
発展し続けるまちをつくる

数値目標 事業所数/従業者数/法人均等割納税義務者数

重点テーマ	1 暮らしとまちを支える 産業の活性化によるまちづくり	2 人にも企業にも 選ばれるまちづくり
-------	----------------------------------	--------------------------

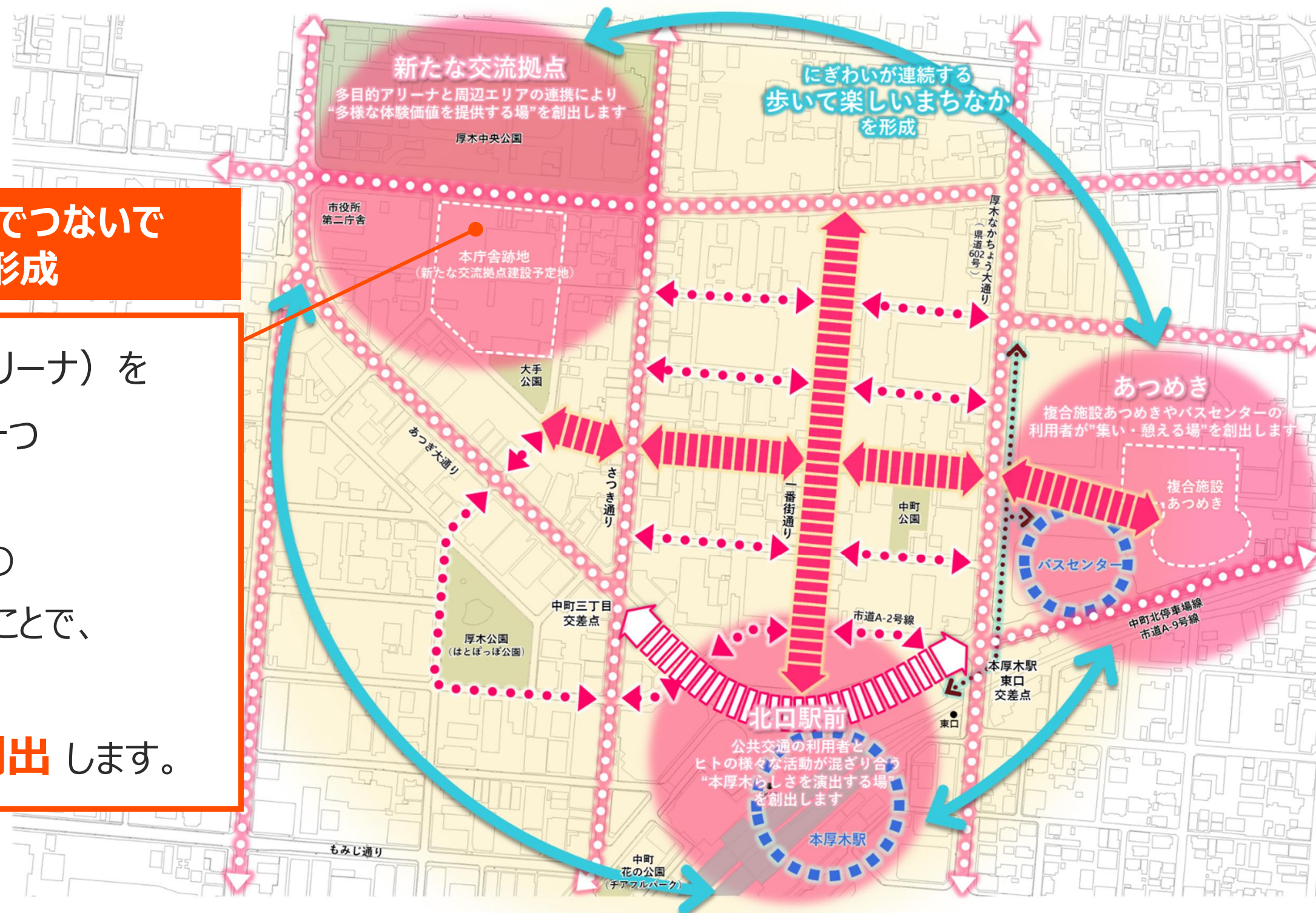
- 本厚木駅北口周辺の一体的かつデザイン・機能性に優れた街並みの再整備
- **本庁舎敷地跡地の活用による中心市街地の活性化**
- 心地良い時間を過ごせるエリアを目指した愛甲石田駅周辺の整備
- 交通利便性の高い広域的な道路網の整備

(4) 多目的アリーナと新しいまちづくり（中心市街地の3つの核）

- 本庁舎敷地跡地は、中心市街地において、極めて高いポテンシャルを秘めていることから、これまでになかったコンテンツを軸に、**新たな交流拠点として機能**させることで、**回遊性を向上**させ、**地域活性化の核**とすることを目的としています。

3つの核をランドレベルでつないで
面的なにぎわいを形成

新たな交流拠点（多目的アリーナ）を
中心市街地の**3つの核**の一つ
として位置付け、
この3つの核をランドレベルの
歩行者ネットワークでつなげることで、
**面的なにぎわいをつくり、
歩いて楽しいまちなかを創出**します。



出所：本厚木駅北口周辺公共空間ガイドライン（案）より抜粋

(5) 多目的アリーナを活用した地域活性化の概念図

- 多目的アリーナは、地域に飲食・宿泊、小売、観光等の周辺産業を巻き込むのみならず、スポーツ興行に留まらない多種多様なイベントの開催等を通じて、**地域のシンボル**となり、地域の人々の誇りや愛着、健康・活力を高め、世代や文化等を超えて人々をつなぐ舞台となることが期待されています。



出所：スポーツ庁「スポーツコンプレックスガイドブック概要版」より抜粋

(6) 本市が目指す多目的アリーナについて（従来の公共施設との違い）

- 本市が目指す多目的アリーナは、これまでの公共施設とは異なり、**プロフィットセンター**として多様な体験価値を提供するとともに、収益の最大化を図る運営重視の施設を目指しております。

市内における従来の公共施設

従来のスポーツ施設

例：厚木市荻野運動公園体育館など



従来の文化施設

例：厚木市文化会館など



地域に経済的・社会的価値を生み出す「プロフィットセンター」

本市が目指す多目的アリーナ

収益性・興行性を重視した施設

- 「みるスポーツ」の利用を軸とした多様な体験価値を提供できるアリーナ
- 貸館以外の多様な収益事業を可能とすることで、収益の最大化を図る運営重視のアリーナ

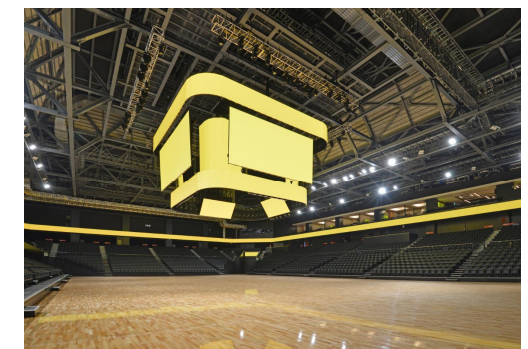
異なる役割

5,000席規模の先行事例

横浜BUNTAI(横浜市)



オープンハウスアリーナ(太田市)



出所：横浜市HP、オープンハウスアリーナ公式HPより抜粋

(7) 多目的アリーナの概要について

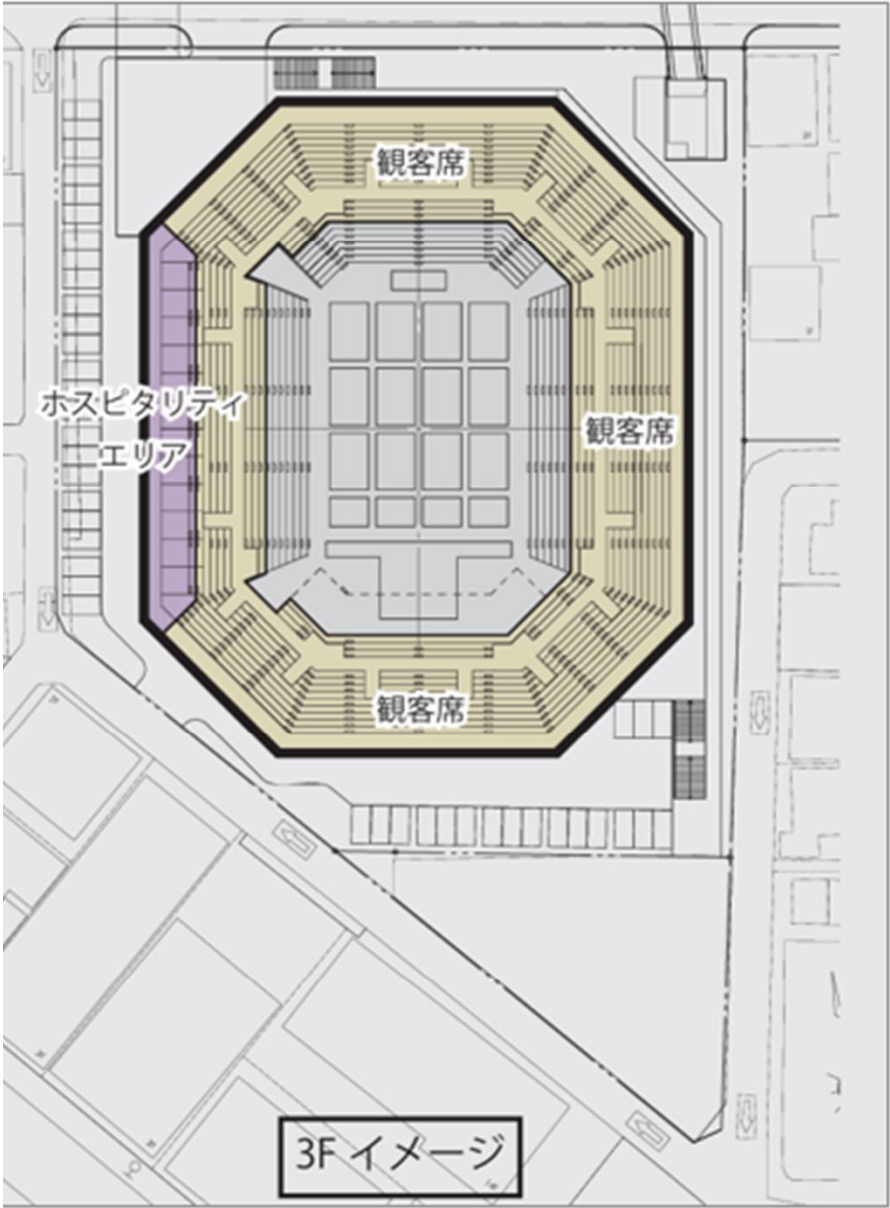
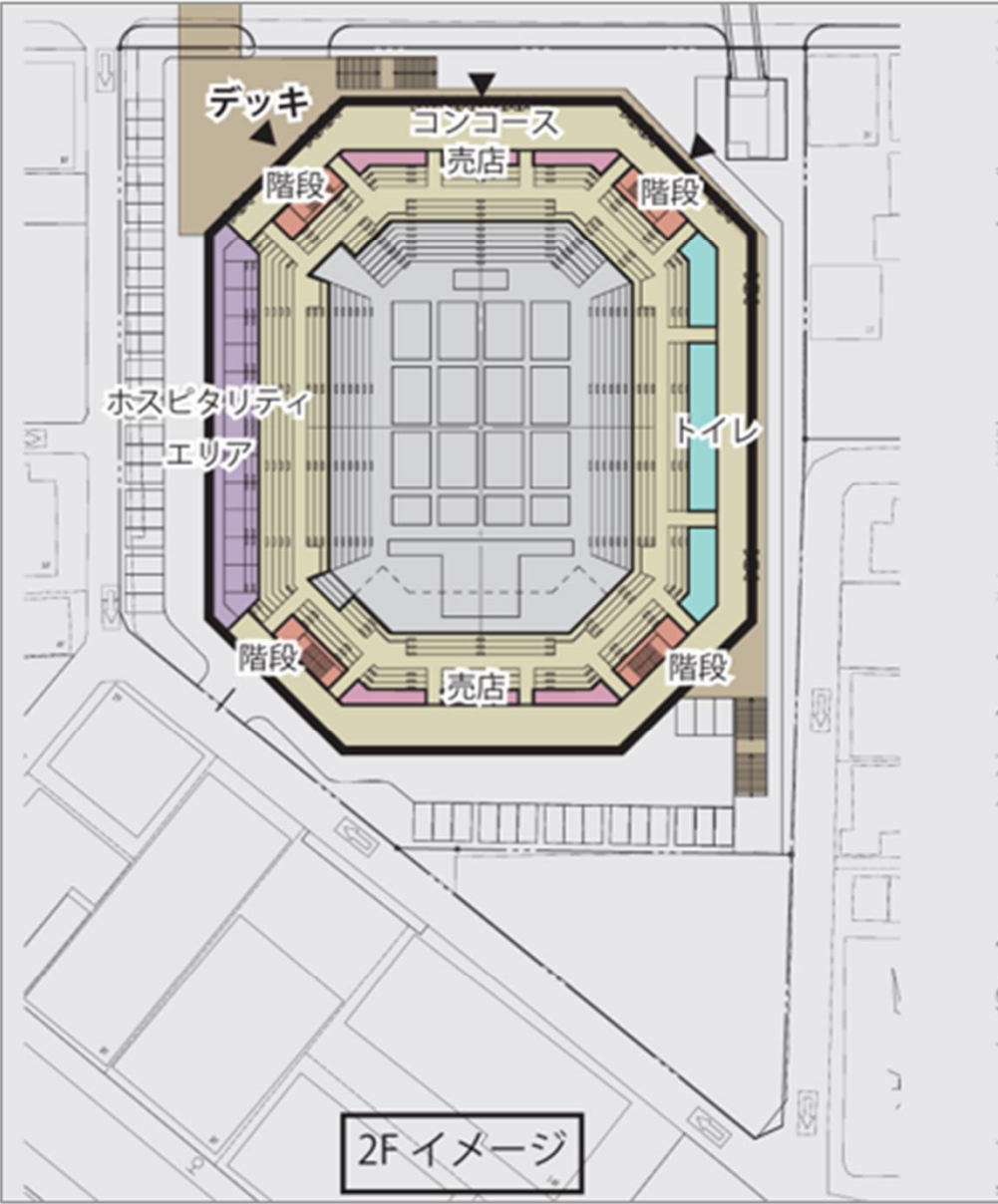
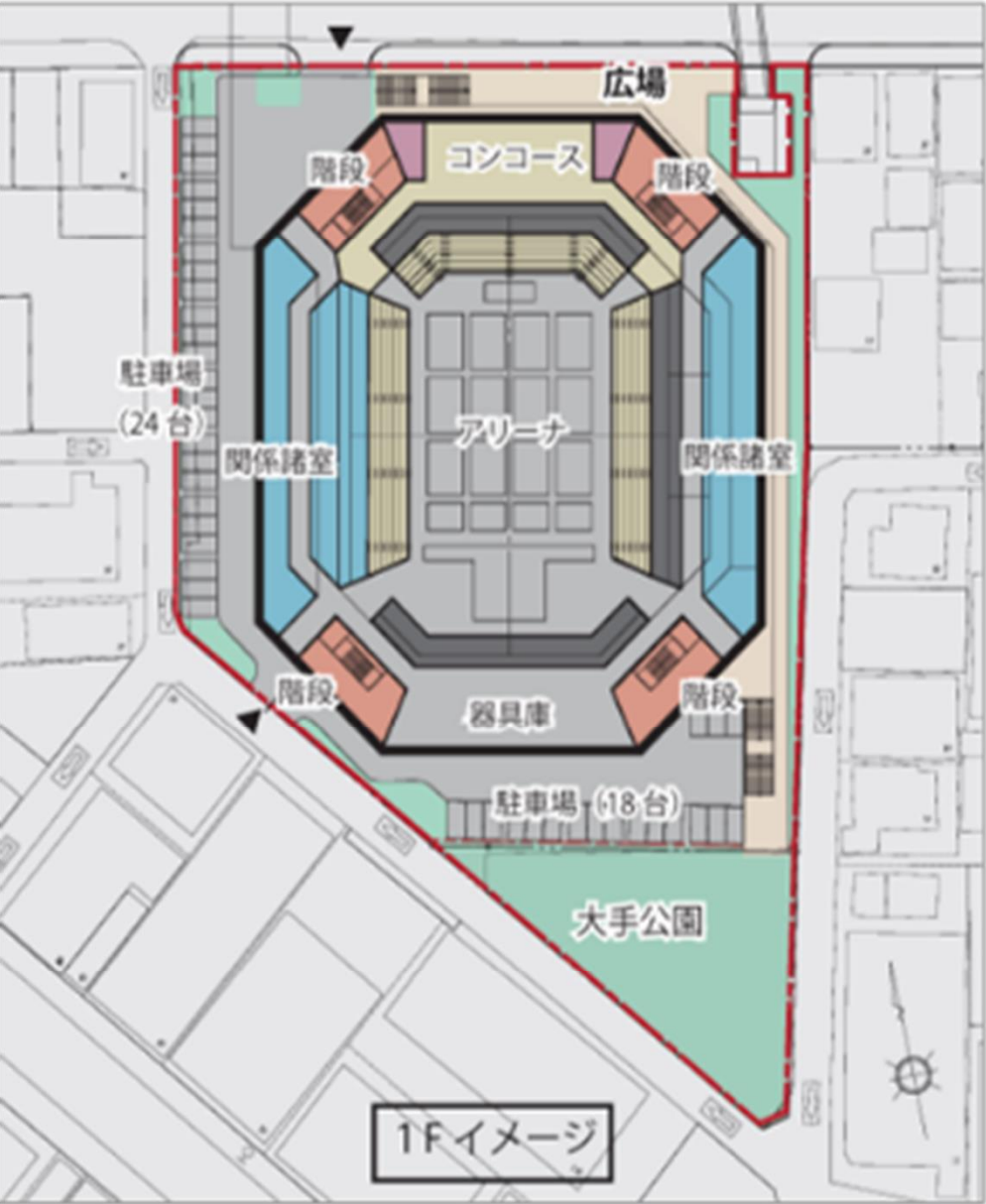
- 現時点で想定する多目的アリーナの施設要件は次のとおりです。
- 具体的な内容につきましては、令和 9 年 3 月に策定する新たな交流拠点としての多目的アリーナ整備基本計画にて、お示しする予定です。

規模・機能	• 5,000席規模（延床面積は約10,000㎡を想定） • プロスポーツや音楽コンサート等の興行に求められる機能を備えた施設を想定
事業手法	• 民間のノウハウや創意工夫が最大限活用できるよう、設計、整備、運営を一体的に発注できるPFI方式を想定 • 民間事業者に運営権を設定することで、自由度の高い運営を可能とするBT+コンセッション方式の導入を想定
周辺施設との連携	• 本事業の事業範囲に、厚木中央公園を始めとした周辺の既存の公共施設を含める検討を行い、複合的かつ効率的な運営を想定
公共施設最適化の視点	• 新たな施設整備にあっては、当該施設の「みる」又は「する」スポーツとして果たす役割を踏まえ、同様の機能を有する施設との集約化を図ることで施設総量の抑制を機能充実を両立します。 ※厚木市スポーツの聖地づくり基本計画（令和 8 年 3 月）より抜粋 • このことから、現在地での建て替えが困難な南毛利スポーツセンター体育館の「するスポーツ」機能を他のスポーツ施設等へ、荻野運動公園で提供している「みるスポーツ」機能を多目的アリーナへ集約するなど、多目的アリーナの整備を契機としたスポーツ施設の機能再編及び適正配置を進めます。 • また、本市がこれまで導入したことのないP P P / P F I 手法の「B T +コンセッション方式」を事業手法に採用することを念頭に、多目的アリーナと同規模の公共施設のランニングコストと比較して、市の財政負担を軽減する持続可能な事業計画とします。

参考 | モデルプラン（**口型**の客席形状アリーナ）

施設諸元	値（目安）
延床面積	10,600㎡（1階：5,400㎡、2階：3,400㎡、3階：1,800㎡）
観客数	5,100席（バスケットボール利用時：5,100席、コンサート利用時：4,300席）
建築面積	6,000㎡
建ぺい率	69.1%

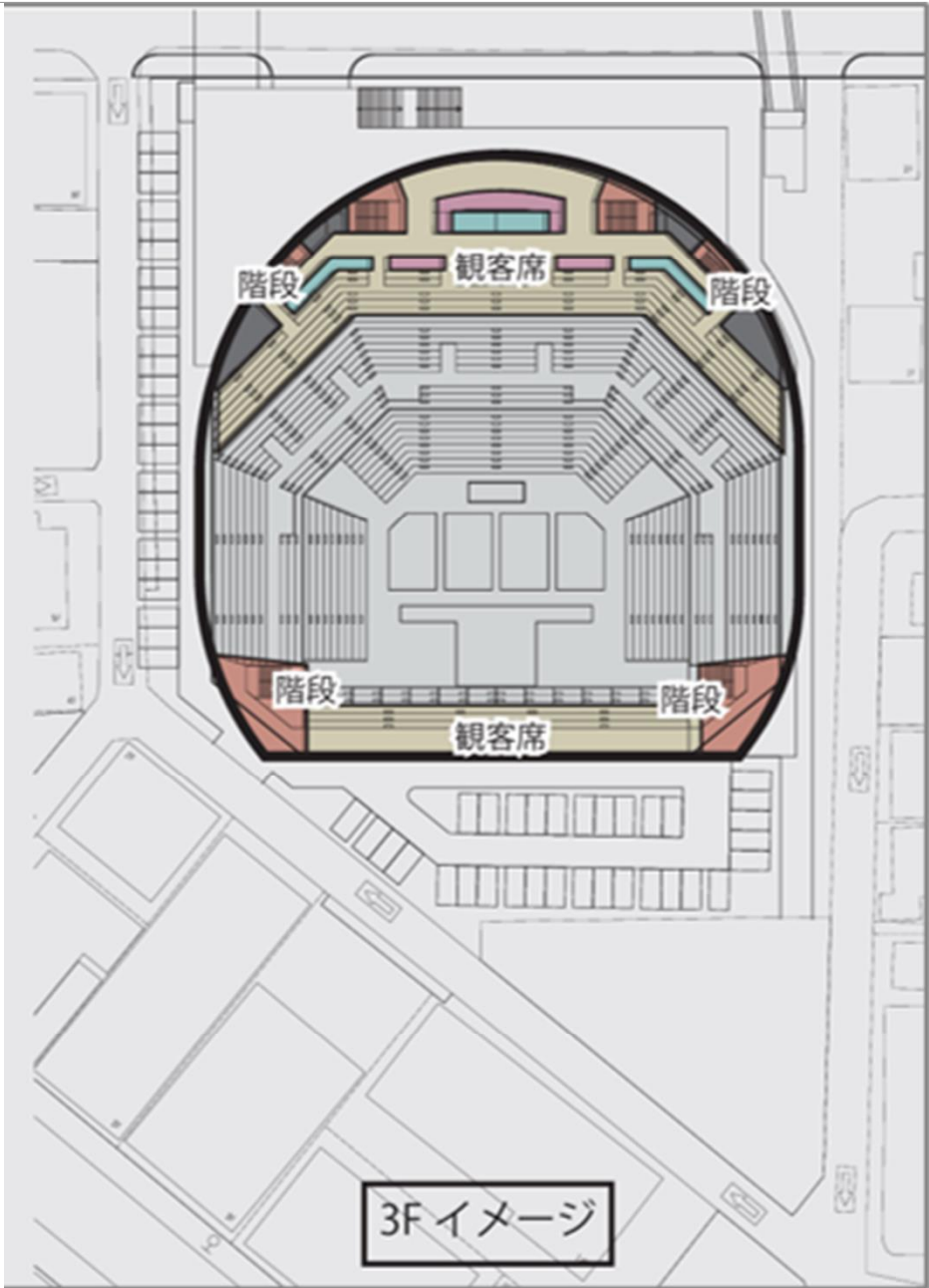
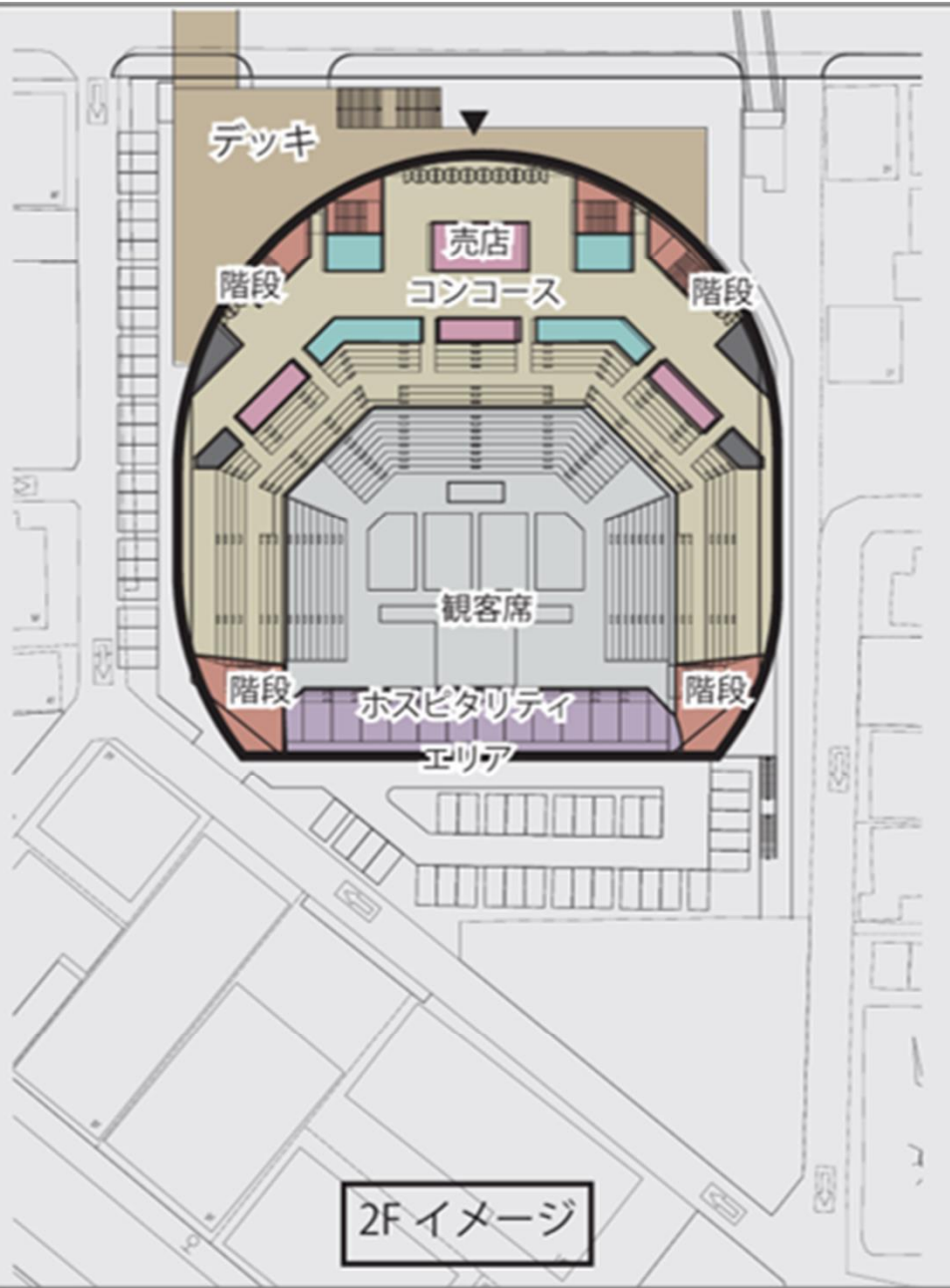
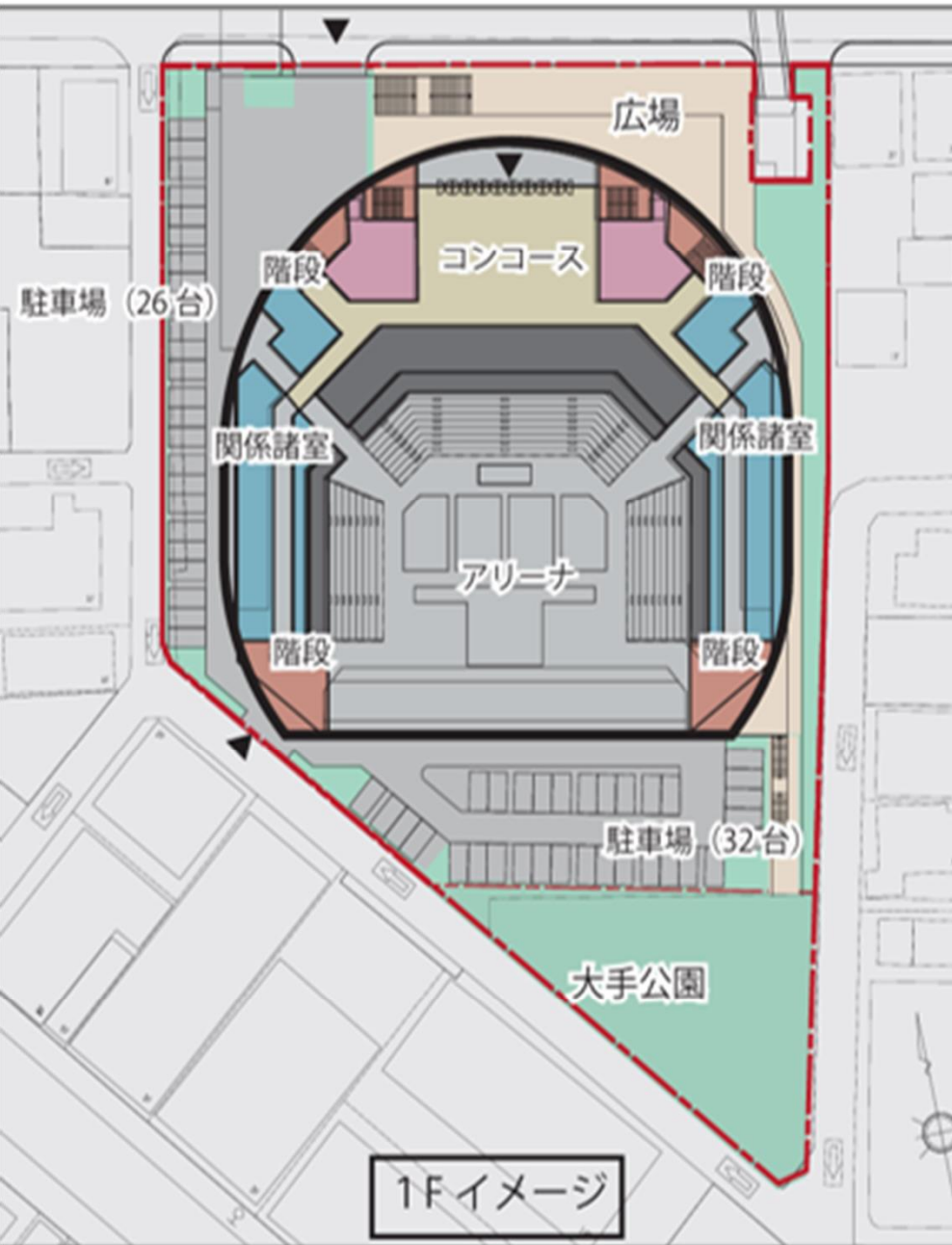
施設諸元	値（目安）
容積率	122.0%
建物高さ	25m
駐車場台数	42台



参考 | モデルプラン（扇型の客席形状アリーナ）

施設諸元	値（目安）
延床面積	9,900㎡（1階：5,000㎡、2階：3,200㎡、3階：1,700㎡）
観客数	5,000席（バスケットボール利用時：5,000席、コンサート利用時：4,800席）
建築面積	5,800㎡
建ぺい率	66.8%

施設諸元	値（目安）
容積率	107.1%
建物高さ	25m
駐車場台数	58台



参考 | モデルプラン（U型の客席形状アリーナ）

施設諸元	値（目安）
延床面積	10,200㎡（1階：5,900㎡、2階：3,000㎡、3階：1,300㎡）
観客数	5,200席（バスケットボール利用時：5,100席、コンサート利用時：5,200席）
建築面積	6,200㎡
建ぺい率	71.4%

施設諸元	値（目安）
容積率	117.4%
建物高さ	25m
駐車場台数	26台

